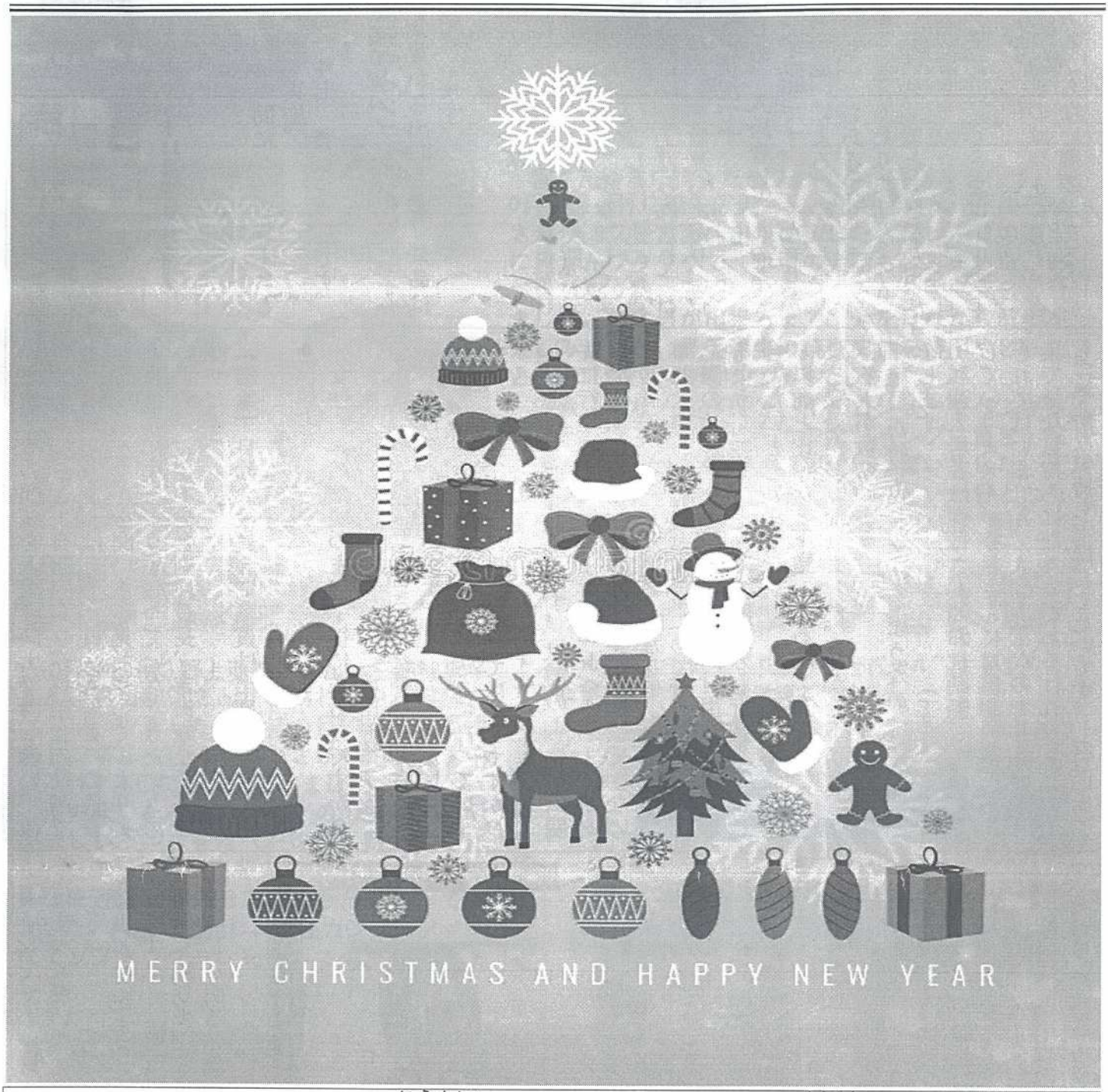
December 12 騰々舎便り



社会福祉法人　任運社（にうんしゃ）　　障がい者支援施設　騰々舎（とうとうしゃ）

〒879-6601　大分県豊後大野市緒方町馬場796-1　TEL0974-42-3578（事務室）
FAX0974-42-4187

TEL0974-42-3579（寮母室）　※土日祝日はこちらにおかけ下さい。

《E-mail》　toutosha@gold.ocn.ne.jp
《ホームページ》　http://ninun.or.jp/　※任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

編集・印刷・発行　騰々舎広報研修委員会

自治会通信

【自治会・相談員会議】

令和5年11月20日(月)開催

◆行事について

《バスハイク》

・10月16日～11月22日の間に、一日コースと半日コースに分かれて実施。

・久しぶりの遠出の外出、楽しかったです。

《忘年会》

・お楽しみ会は恒例のビンゴ大会がいいです。

↓景品代は自治会費から出します。景品は工藤サビ管が準備します。

◆自治会役員会の在り方について

・羽田野俊則氏より“自治会役員会は役員だけでは話がまとまらないので、職員（施設長、主任、相談員、サビ管のいずれか）が参加してまとめて欲しい”と提案がありました。他の役員からも“話の途中で会を切り上げられたりするので話し合いにならない”と意見も上がり、役員会が機能していない状況です。

↓役員会は役員はじめ、入居者皆さんの声や思いを聞き取り話し合う場です。色々な意見が出る事で、意見の食い違いによる口論があったり、話がまとまらないこともあるでしょう。必ずしも意見をまとめる必要はありません。“このような事を話したが意見がまとまらなかったので、職員や他の人の意見を聞きたい”と、自相会議や対話会で提案し、話し合えばいいのです。

騰々舎で生活をしているのは皆さんです。入居者の目線でないとわからない問題があると思います。その問題を入居者同士で話し合い、改善していくことが自治です。役員の皆さんは自治会員（入居者）の代表として色々な声を聞いたり見たりして、より良い暮らしになるよう頑張っていただきたいと思います。（橋本総合副施設長、吉田施設長、工藤サビ管）

【結論】自治会役員会に職員は出席しません。

◆役員より

・女性の入浴はいつまで午後にするのですか？（羽田野律子氏）

↓今月末の対話会で皆さんの意見を聞き、結果を出したいと思います。（工藤サビ管）

・入居者がボタンを押せないようになっていますが、エレベーターで下に降りてはだめですか？（甲斐氏）

↓下に行く事は自由です。以前のように玄関先に行くことも出来ます。エレベーターのボタンに細工をしているのは、危険を認識できない入居者の方がエレベーターを使用して降りた際、事故に遭う可能性があるためです。1人で降りた際のリスクを理解できる方が自由に利用できるよう、エレベーターの使い方も対話会で話し合いたいと思います。（吉田施設長）

・以前と比べると下膳をする時、声をかけてくれる職員が多くなりました。しかし、黙って下げる人が数名います。（井出上氏）

↓職員が特定されているようなので、直接話をします。（工藤サビ管）

・私達入居者は寮母さんのお世話無しでは暮らしていけません。寮母さんには感謝の気持ちを忘れてはいません。人間同士なのでお互いの言葉で嫌な気持ちになる事があるけれども、いつも穏やかな気持ちで過ごしたいです。（竹内氏）

・トイレでカール君を使う時、かかとがちゃんとはまってないのに介助する職員がいます。（竹内氏）

↓職員が特定されているようなので、直接話をします。（工藤サビ管）

・今年も残り少なくなりました。風邪をひかにようにし、明るい歳末を迎えましょう。（羽田野俊則氏）

12月の誕生者

森川義秋さん(46歳)

体調も安定して、穏やかな日々を過ごしています。

堀トミ子さん(84歳)

騰々舎最高齢とは思えないくらい、元気な堀さんです！

後藤清子さん(54歳)

離床時間も増え、生活にメリハリが出てきました。

ダブルピースじゃ足りないくらい楽しんでます！

牛肉たっぷりで美味しそう！食べるぞ～！

皆さん待ちに待ったバスハイク。先陣を切って、10月16日(月)に染矢広美さん、甲斐修さん、阿南克哉さんが津久見方面へ出かけました。久しぶりの遠出に皆さんワクワクで、車中の会話も弾みました。お弁当を買う為、海辺にあるつくみん公園に立ち寄りました。お弁当が出来るまで、海を見ながら散歩を楽しみました。黒毛和牛の焼き肉丼を焼酎やビールと一緒に食べ、満足げな様子でした。

午後はイルカ島へ行き、イルカショーやペンギンを観ました。皆さんイルカの大ジャンプに驚き、ペンギンの赤ちゃんに癒され笑顔いっぱいでした。天候に恵まれ、お腹も心も満たされ、良い一日となりました。

（寮母　白石宏憲）

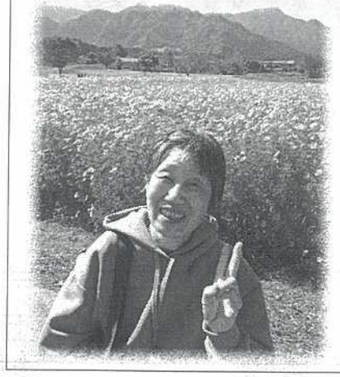
バスハイク

10月18日(水)野上亜津子さん、三浦智恵子さん、宮川和信さんが秋晴れの中、阿蘇方面へ出かけました。最初の目的地、高森湧水トンネルへ行くも、まさかの点検日！中に入れず入口で記念撮影しました。

道の駅・あそ望の郷くぎののテラス席で美味しいランチを食べた後は、敷地内に作られた50万本のコスモス畑を見学しました。見頃を迎えたコスモスに皆さん感動していました。阿蘇を出発し、久住ガンジーファームでソフトクリームを食べて帰路につきました。

（寮母　阿南純一）

トンネル内で幻想的な“ウォーターバール”を見る予定でしたが、残念！　でも笑顔でパチリ☆



コキアもコスモスも青空に映えて綺麗です。

ハンバーグもスイーツも美味しそう！　イエーイ！

バスハイク

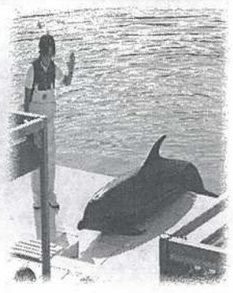
バスハイク日和となった10月26日(木)、佐藤保彦さん、安藤渚さん、赤峰満明さんが津久見のイルカ島へ出かけました。行く道中、本匠のかかし村や大水車を見物しました。よく出来たかかしや大きな水車を見て、皆さん驚いていました。

お昼は途中で購入したお弁当をつくみん公園で海を眺めながら食べました。昼食を終え、イルカ島へ行きイルカショーやペンギンを観て楽しみました。トレーナーの指示通りに泳ぐイルカを観て「賢いなぁ」と感心していました。帰騰後「また行きたい！」「疲れたけど楽しかった！」と嬉しい感想が聞かれました。

(寮母　白石宏憲)

みなさん素敵な笑顔です！
賑やかさにつられて、ペンギンが穴から出てきました。

外出、楽しいぞ～！



イルカのパフォーマンスに驚きっぱなしでした。

イエ～イ！

青空の下での食事、いつもより美味しいね！

11月1日(水)、羽田野俊則さん、川野憲子さん、和田由香さんがバスハイクに行きました。先日参加した方に好評だったコースで巡りました。本匠のかかし村、大水車では、手作りのかかしの出来栄えに驚き、昔大水車を見たことがある羽田野さんは懐かしさを感じながら見ていました。津久見駅前の飲食店でお弁当を買い、つくみん公園で青空の下、海を眺めながらのんびり食事をしました。

イルカ島ではショーまで時間があったので、ソフトクリームを食べて待ちました。ショーではイルカが大ジャンプする度に「おぉ～、すごい！」と皆さん驚いていました。天気に恵まれ、楽しい一日になったようでした。

(寮母　白石宏憲)

天気に恵まれ、最高のお出かけ日和です！

久しぶりの外出にお疲れ気味かな？

桃ソフトクリーム、いただきま～す！

10月19日(木)佐藤由美子さん、小堀眞義さん、堀トミ子さんがバスハイクに出掛けました。『海が見たい』という堀さんのリクエストで佐伯市方面へ向かいました。堀さんの昔話、佐藤さんや小堀さんの笑い声で賑やかな道中となりました。

昼食は魚屋さんでお弁当を買い、米水津にある標高250mに位置する空の公園に行き、高台から海を眺めながら食べました。少し霞があり遠くまでは望めませんでしたが、青空の下素敵な景色を観ながら楽しい時間を過ごしました。海沿いをドライブしながら、最後は道の駅・きよかわで桃のソフトクリーム食べて帰騰しました。

(寮母　平山晶大)

美味しそうなお弁当。どれから食べようか悩み中。

バスハイク

豊後二見ヶ浦にて。夫婦岩にかかる大しめ縄の長さは日本一で、ギネスにも認定されました。

10月25日(水)、後藤照孝さん、木崎正一さん、藤田清隆さんが美味しい海鮮料理を目指してバスハイクに行きました。目的地は佐伯市の北浦臨海パーク。急遽メニューを変更して、隣接している牡蠣小屋で刺身や海鮮焼をお酒と共に楽しみました。施設ではなかなか食べる事ない新鮮な海の幸を堪能しました。

食後は豊後二見ヶ浦に行き、海岸沿いを散策しました。最高の秋晴れと心地良い潮風に心も体もリフレッシュ出来たようでした。帰りはソフトクリームも食べ、楽しい一日を終えました。

(寮母　阿南純一)

宝石箱の様な海鮮丼をパクリ。

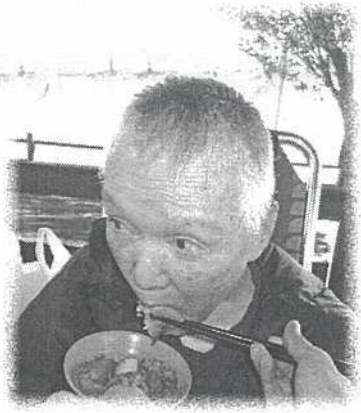
新鮮な魚介と一緒に飲む焼酎は最高！

11月2日(木)、佐々木栄子さん、室原恒喜さん、三浦文義さんがバスハイクに行きました。「刺身を食べたい」という佐々木さんのリクエストに応えて、佐伯市へ行きました。

昼食は海沿いの市場で購入した海鮮丼やりゅうきゅう丼を、海の見える公園で食べました。とても風が気持ちよく、皆さん美味しそうにいつも以上にたくさん食べていました。

唐揚げ好きの皆さんなので帰りに若鳥の一本揚げを買おうとしましたが、残念ながら定休日でした。代わりに道の駅・やよいでソフトクリームを食べました。帰りの道中では三浦さんの口ずさむ歌が子守歌になったようで、他の方は夢の中でした。　(寮母　平山晶大)

大分の郷土料理
『りゅうきゅう丼』
美味しそう～！



小春日和の暖かな日差しに、
ついウトウト…。

バスハイク

11月15日(水)、芳崎のり子さんと吉良悦子さんが半日コースのバスハイクに出かけました。紅葉見物として、久住や朝地の神角寺渓谷へ行きました。久住では幹線道路沿いを走りましたが、山間に入り込まなければ紅葉は見られないようで残念ながら鑑賞できませんでした。神角寺渓谷では多少色づいた紅葉を観る事が出来ました。天気は良かったですが空気は肌寒く、季節を感じるバスハイクとなりました。　(寮母　山村徹)

新型コロナウイルス対策に伴う面会制限緩和について

現在、謄々舎では**窓を開放しての面会を実施**しております。しかし、5類に移行したものの新型コロナウイルスが収束する様子が見られないことを考慮し、一定の条件の下実施しております。ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

面会について

面会者…ワクチン2回以接種された方
３名以内　（マスクの着用厳守）
玄関にて検温、問診表記入をお願いします。
※上記の条件に満たない場合は、
窓越し面会とさせていただきます。

面会場所…旧謄々舎食堂前のテラス
（新舎屋へは入れません）

面会時間…面会時間は20分以内とします。

予約制とさせていただきます。
事前に電話にてご予約をお願い致します。

【平日】事務室　0974-42-3578
【土・日・祝日】寮母室　0974-42-3579

任運社福祉サービス相談委員会

11月16日(木)に開催。①鼻腔チューブの抜去②胃瘻栄養注入器のキャップの紛失③車椅子からの転落④気管カニューレの抜去⑤異食行為、以上5件が報告されました。

今後の対応としては、①点滴スタンドや経管チューブの取り扱いは慎重に行う②キャップを外した際は速やかに所定のケースに入れる③本人の動きが予測できない為、車椅子利用時はベルトを使用する④気管カニューレの固定紐の緩みや長さに気を付ける⑤本人の手の届く所に物を置かないことを申し合わせました。

次回は12月21日(木)に開催されます。

（サービス管理責任者　工藤奈々）

委員会報告

★防災対策委員会
・枯葉が多くなってきたので、施設の樋清掃を行います。

★事故対策委員会
・骨折事故が発生しました。介助は慎重に行い、再発防止に努めます。

★喀痰・吸引委員会
・年度末に向けて備品の在庫チェックと清掃を行っていきます。

★行事委員会
・12月は忘年会、クリスマス会があります。皆さんに楽しんでいただけるよう計画していきます。

★感染症対策委員会
・週一回の抗原検査(全職員対象)を継続しています。検査キットを切らさぬよう在庫確認と発注を行います。

★拘束・虐待防止委員会
・姿勢保持ベルト等が適切に使用されているか、又、解除できる方がいないか見直しを行います。

★褥瘡対策委員会
・皮膚が乾燥しやすい季節になりました。保湿に注意しつつ、皮膚トラブルの早期発見に努めます。

★広報・研修委員会
・久しぶりの遠出の外出、皆さんの楽しさが紙面から伝わったでしょうか。

謄々任運

早いものでもう師走。秋を感じる間もなく冬になってしまったという印象でした。

今年もコロナ禍の影響から抜け出せない一年となってしまいました。入居者の方々、そのご家族には不自由な思いをさせ続けていますが、その分職員もエッセンシャルワーカーとしての自覚を持って、施設内に持ち込まない努力をしております。ご容赦ください。

豊後大野市ではコロナばかりでなく、インフルエンザもかなり流行っており学校閉鎖になっているところもあるようです。

しかし、世間ではかなり以前の活気が戻ってきているようです。この冬を越せば普段のような生活が戻ることを切に願っております。

来年の五月祭は施設内開催でなく、オープンで開催することを予定しています。ご家族や近隣の方々にも参加を呼びかける予定ですので是非ご参加ください。

皆様体調を崩さぬようご自愛ください。

良いお年をお過ごしください。

（施設長　吉田　大）